

みんなが輝く  
全国に誇れる  
ふくい



# 1 総合計画策定の趣旨

福井市では、昭和43年の「福井市行政計画（第一次）」以来六次にわたり、市政運営の基本となる総合計画を策定し、市勢発展に努めてきました。

この間、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化してきました。特に近年、少子化・高齢化の進行に加え、若い世代が地方から大都市圏へ流出することで、一層地方の人口減少が進み、社会や経済に様々な影響を与えています。

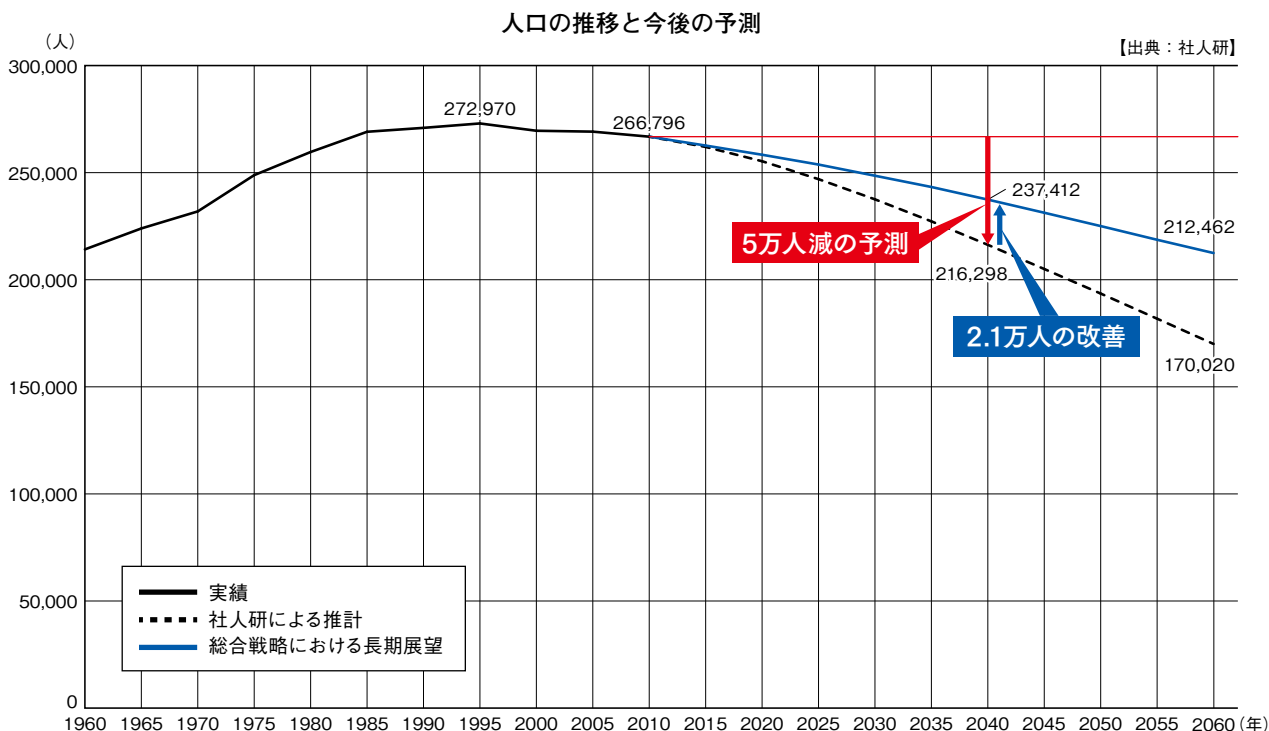
こうしたことから、本市を取り巻く環境の変化や社会経済の動向に対応する新たな総合計画として「第七次福井市総合計画」を策定しました。

本総合計画では、今後5年間とさらにその先の将来を見据えて、目指すべき本市の有るべき姿を描きました。

子どもから高齢者まで、全ての市民が安全・安心で豊かな生活を送ることができるよう、市民と行政が様々な場面で手を携え、民間の活力を活用しながら、本市の輝く未来と、「全国に誇れる ふくい」の実現に向けた取組を推進していきます。

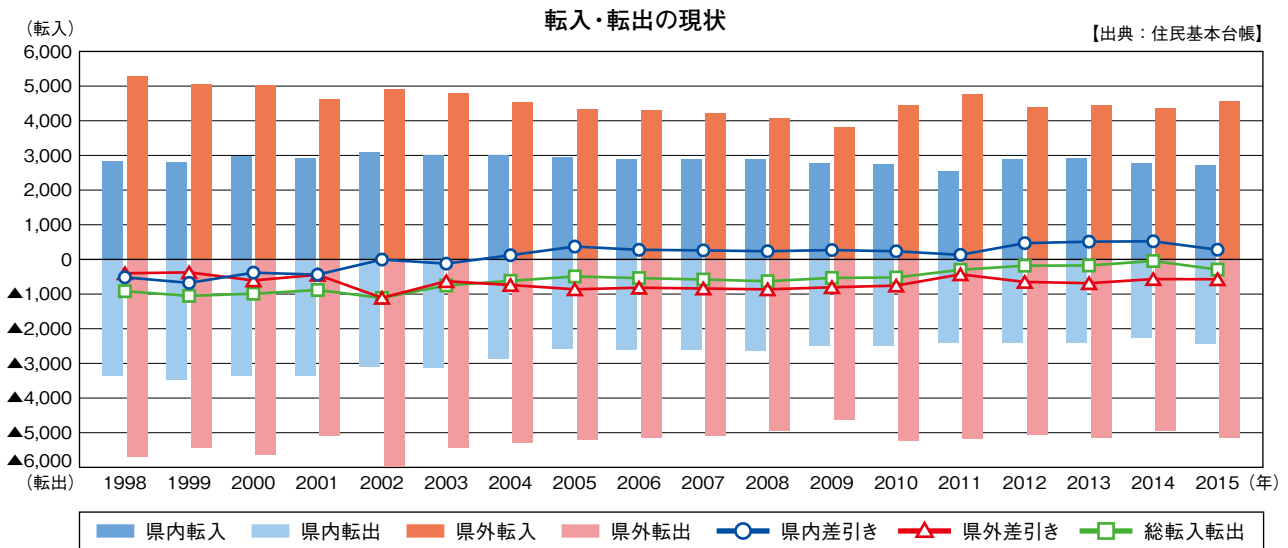
## 2 福井市の現状

### (1) 人口



国勢調査によると、本市の人口は、平成7(1995)年の272,970人をピークに減少期に入り、近年も、22年は266,796人、27年は265,904人と減少を続けています。国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計によると、平成52(2040)年には216,298人となり、約5万人の人口減少が予測されています。

平成27年12月に策定した「福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」においては、この人口減少傾向を克服すべく様々な施策に取り組み、約2万人の改善を図る長期展望を示しました。



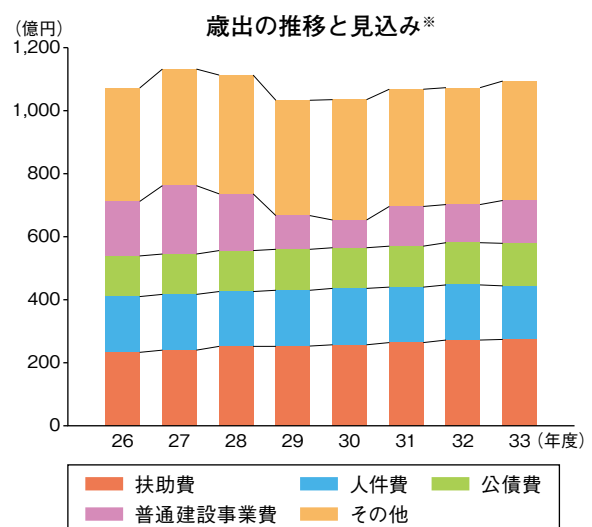
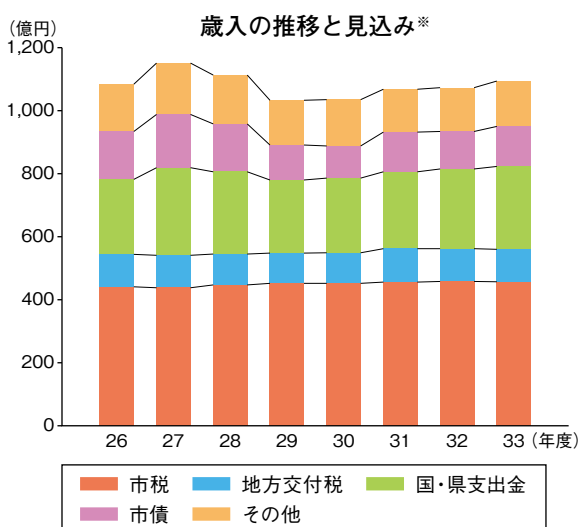
自然動態については、出生数は今後とも減少傾向が続く見通しであり、高齢化が進むとともに、死亡数も今後増加すると見込まれています。

少子高齢化は今後確実に進むことから、少しでも少子化に歯止めを掛けていくとともに、高齢社会への適切な対応が必要です。

一方、社会動態については、県外に対しては、大都市圏を中心に人口流出が続く転出超過となっていますが、県内においては、転入超過傾向にあります。

社会動態は、自然動態と比較してボリュームが大きいため、施策の即効性は高いと考えられます。経済情勢など外的要因に左右されることも大きいですが、新しい人の流れをつくることやまちの魅力を高めることなど、時代の潮流を適切に捉えた施策を展開することが必要です。

## (2) 財政状況（普通会計）



歳入の根幹をなす市税は近年減少が続いている一方で、歳出においては、扶助費や公債費などの義務的経費が増大し、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。

※ 平成26年・27年度は決算額。平成28年度以降は見込み額。

### 3 本市を取り巻く環境の変化

平成30年度	福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催
平成31年度	中核市に移行
平成34年度	北陸新幹線福井開業

北陸新幹線福井開業や福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催が目前に迫ってきた今、本市の持つ様々な資源や福井らしさを最大限活用し、さらに伸ばしていくことは、本市が大きな飛躍を遂げる新たな契機となります。

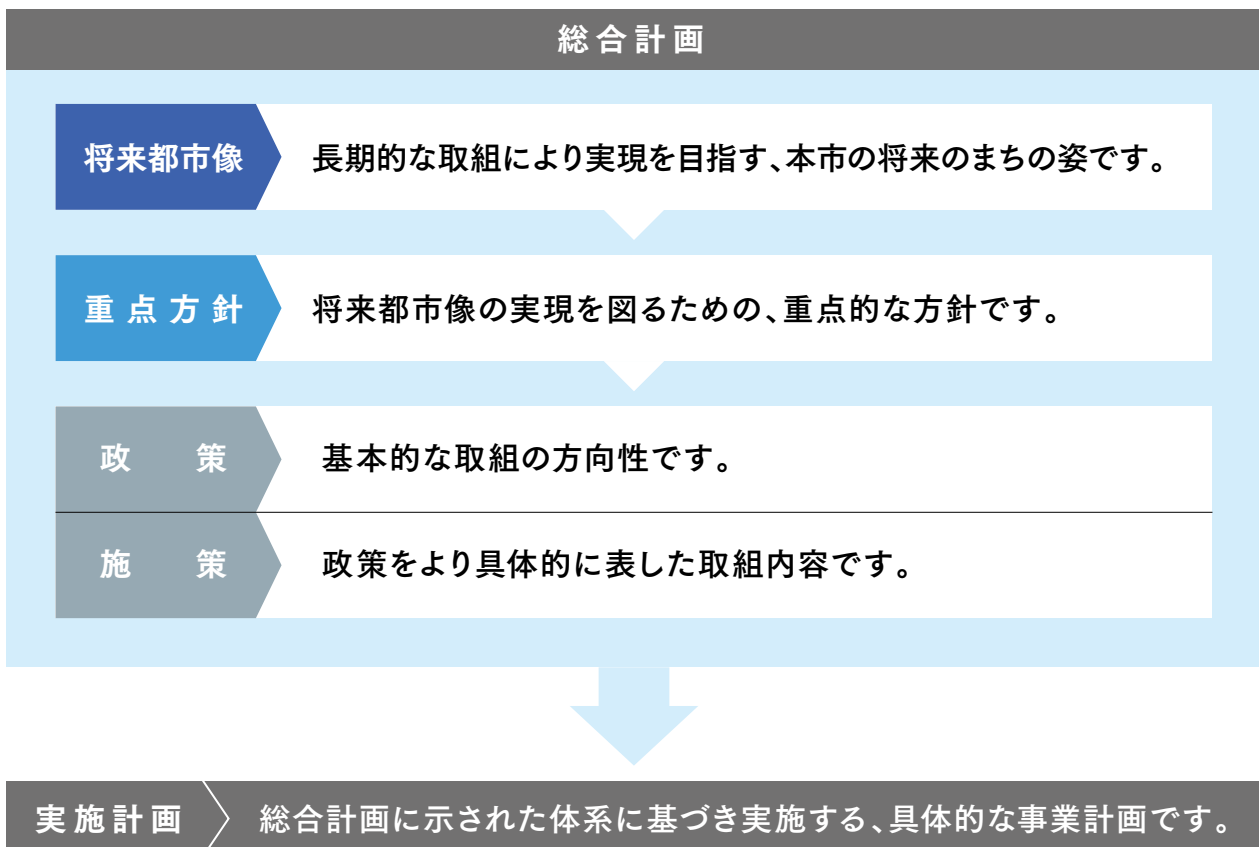
また、本市は、県都として周辺地域の発展のために、市町の牽引役や先導的役割を果たすことが求められています。

### 4 総合計画の構成と期間

【期間】 平成29年度～平成33年度

社会状況の変化に弾力的に対応できるよう、計画期間を5年としています。

【構成】 「将来都市像」、「重点方針」、「政策、施策」で構成します。



## 5 将来都市像

### 将来都市像

### みんなが輝く 全国に誇れる ふくい

第六次総合計画の将来都市像の理念を受け継ぎつつ、10年、20年先の将来を見据えた長期的な取組により実現を目指す本市のまちの姿として決めました。

誰もが住み続けたい、住んでみたいと思える福井市づくりのためには、市民、地域、企業など本市のすべてが輝き、みんなが豊かさを実感できるまちづくりを進める必要があります。

また、人口減少社会の中で、将来にわたり活力ある福井市を築くためには、市民一人ひとりのふるさと福井に対する誇りの醸成と、全国に向けた発信が、ますます重要になります。

行政のみならず市民や企業など、それぞれの連携を強化し、総力を挙げて、将来都市像の実現に向けた取組を進めます。

## 6 重点方針

### 重点方針

### ◆ 豊かな地域づくり ◆ 輝く未来への挑戦

将来を見据えたまちづくりを進めていくには、これまで培ってきたバランスのとれたまちづくりを基礎に、さらに地域の資源や特色を最大限に活かし、住む人にとっても、来る人にとっても、快適で個性豊かな地域づくりを充実させていくことが重要です。

また、平成29年度から33年度までの5年間、本市を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えます。30年度に開催される福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会。31年度の中核市移行。32年度の東京オリンピック・パラリンピック。そして、33年度には、翌年度の北陸新幹線福井開業に向けた総仕上げの年を迎えます。

この好機を逸することなく、様々な取組を積極的に展開し、輝く未来の福井市を描けるよう果敢に挑戦していくことが必要です。

2つの重点方針に基づき、「快適に暮らすまち」、「住みよいまち」、「生き活きと働くまち」、「学び成長するまち」の4つの分野毎に、市政全般にわたる政策・施策に取り組んでいきます。

将来都市像

# みんなが輝く 全国に誇れる

重点方針

◆ 豊かな地域づくり

◆ 輝く未来への挑戦

政 策

<p><b>I</b></p> <p>快適に暮らすまち</p>	1	まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる
	2	地域の特色を活かし魅力的で活力のあるまちをつくる
	3	強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる
<p><b>II</b></p> <p>住みよいまち</p>	4	市民が自らの役割と責任を担い誰もが尊重され活躍できる住みよいまちをつくる
	5	すべての市民が健康で生きがいをもち安心して暮らせるまちをつくる
	6	環境にやさしい持続可能なまちをつくる
	7	災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる
<p><b>III</b></p> <p>生き活きと働くまち</p>	8	若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる
	9	活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる
	10	観光資源を磨き上げおもてなしの心があふれる観光のまちをつくる
<p><b>IV</b></p> <p>学び成長するまち</p>	11	郷土の文化や歴史、自然を活かした個性的で魅力あるまちをつくる
	12	健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる
	13	市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

総合計画を推進するために

# ふくい

## 施 策

- ① まちなかの資源を活かした魅力と風格ある県都の顔をつくる
- ② にぎわいのある空間を創出しまちなかの活性化を図る
- ③ 北陸新幹線の整備を進める

- ① 地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる
- ② 地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する
- ③ 快適な市民の憩いの場をつくる

- ① 強靱な社会基盤を整備する
- ② 生活排水を適切に処理し良好な水環境を維持する
- ③ 安全で安心なおいしい水と都市ガスを安定供給する

- ① 女性が輝く社会の実現を図る
- ② 多文化共生の地域づくりと国際交流を推進する
- ③ 力を出し合いみんなで担う協働のまちづくりを進める
- ④ 住民が主体となったまちづくりを進める

- ① 生涯にわたる健康づくりを支援する
- ② 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる
- ③ 高齢者が生涯にわたって社会参画でき安心して暮らせる環境をつくる
- ④ 障がいのある人が地域で安心して生活できるよう支援する
- ⑤ 生活困窮者の自立を支援する

- ① 良好な生活環境や水とみどり豊かな都市環境を守り育てる
- ② 環境負荷低減の取組を推進する
- ③ 環境について考え行動できる人づくりを進める

- ① 地域の防災力を高める
- ② 火災等から人命と財産を守る
- ③ 地域における防犯力を向上する
- ④ 安全で安心な消費生活を支える
- ⑤ 交通安全対策を推進する

- ① 稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
- ② 伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
- ③ 農産物のブランド化と需要を拡大する
- ④ 農山漁村の生活環境を守る

- ① 地域の商工業を振興する
- ② 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する
- ③ 福井で働くことを応援する

- ① 文化や自然を活かした観光資源を磨き上げ発信する
- ② 観光を通してイメージアップを推進する
- ③ おもてなしの充実を図る

- ① 市民の誇りとなる文化芸術を振興する
- ② 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する
- ③ 自然科学教育で子どもの夢を育てる

- ① 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する
- ② 子どもの健康増進を図る
- ③ 子どもの健全な育成を図る
- ④ 学びの場としての学校環境を整備する

- ① 市民の生涯学習を支援する
- ② 市民の生涯スポーツを支援する

- ① 時代の変化に対応できる組織体制を構築する
- ② 市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスを提供する
- ③ 効率的で持続可能な行財政運営を行う

# 実施計画

## 第七次 福井市総合計画

